

「あさひかわ北彩都ガーデンの有料化案」にお寄せいただいた御意見と旭川市の考え方

○意見募集期間:平成28年5月20日(金)から平成28年6月20日(月)まで

○意見提出者:15人(個人14, 団体1)

○意見の要旨及び意見に対する旭川市の考え方

※意見については原文のとおりとしていますが,一部読みやすくするため修正等を行っています。

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
1	<p>・あさひかわ北彩都ガーデンは,旭川駅に直結した街の中心部に有る全国的にも珍しいロケーションのガーデンとして,平成27年7月にグランドオープンした。</p> <p>・駅の西コンコースを通して歩行者専用道路「買物公園」へと繋がる市街地でありながら,南側には雄大な忠別川が流れ,身近な自然の美しさに改めて気付かされる,そんな癒しの空間が広がる。</p> <p>・自然の風景や環境を活かした,誰もがくつろげ,楽しめる旭川らしいガーデンとして,市民と共に守り育て,活用・交流を深めていくことで「市民生活の質を向上」させ,また,外から訪れる人にも楽しんでもらえる「街中の観光スポット」としても機能することで,中心市街地の活性化,旭川市の活性化に繋げていくことを目的として設置された。</p> <p>・ガーデンは中心市街地の目玉として期待される場所でもあることから,ガーデンをより一層魅力あるものとしていくために,有料化によって得られる収入をガーデンの整備費や質の高い管理を行うための経費に充て,より良いガーデンの管理運営を行い,将来的には,市民や観光で訪れた方に感動を与えられるような北海道らしいガーデンに育てていきたいと考えている。</p> <p>・ガーデンエリアの内,ガーデンセンターの立地する宮前西エリア(約1.0ha)をフェンスや生垣で囲い有料ゾーンとする。</p> <p>・有料ゾーンには,演出性の高い植栽を行い,訪れた人の目を引くような一年草を使ったシンボル花壇をつくる。</p> <p>・ガーデンセンターの横では,ハンギングバスケット等による修景を行い,建物沿いを華やかに彩る。</p> <p>・体験学習コーナー,調理コーナーを使用する場合とする。(小・中学校・高校・大学生)</p> <p>・海外や道外からも修学旅行で沢山訪れる。</p>	<p>御意見の内容につきましては,計画案の内容とおおむね同様のものであり,参考意見として受け止めさせていただきます。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
2	<p>日頃、市民と行政とのジレンマにて苦境に立たされている各部の関係者の少しでも参考になれば幸いです。頂きました総合計画案の中でも優先順位があれば助かりますが、将来の市民の為にも軽佻浮薄は許されず、尚対策に苦慮することも懸念致すところで、なかなか答える方も責任ありで悩みます。</p> <p>1. 空閑地をコンパクトシティと共に考えてみることと</p> <p>2. 気楽に旅人に使用していただき、又いざという時の災害に利用することの出来るカプセルホテルの設置にて幅広い観光を楽しんでいただければ、中心市街地、近郊にも良い効果につながり外国からの客も呼びやすく、ワーキングホリデーの仲介役の関係者となり、ワンシーズンの雇用の為の少しでも担い手不足の解決策となること間違いなく、必要とする人、される人(住んで良し又来て良し)体験者から様々な人間関係により、国内、海外の対象者にてのピーアール、これこそ相乗効果につながるのではと期待する一人です。</p> <p>3. 全国の青年交流の場、自治体の交流、アジア、ヨーロッパの若人の集い、有料化の前に常に人々が足を運びやすく年間収入を考えることの方が良いのではと思います。</p>	<p>いただいた御意見は、今後の施策推進における参考とさせていただきます。</p>
3	<p>先日北彩都ガーデンを見学してきました。有料化案についてですが、今の設備では有料化案については反対、または200円です。</p> <p>理由としては、有料化に見合う設備がないこと。入場料を200円集めてもそれにかかる人件費管理費だけを見てもペイするのでしょうか。</p> <p>また、想定人員がないのも気にかかりました。仮に500円以上払った場合は今の設備では不評が広がる心配があります。</p> <p>近郊の上野ファームは800円と思いますが、内容は比べようがないと思います。有料化については無料もしくは200円程度かと思います。</p>	<p>・有料化の区域は、ガーデンセンターの周囲約1ヘクタールとなります。現在、芝生広場となっている敷地の一部を新たに花壇として改修し、主に一年草を使い、訪れた方の目を引くような演出性の高い植栽を行うことを予定しています。</p> <p>合わせて、花壇への一年草植栽だけではなく、例えば、ハンギングバスケットやプランター花壇を利用した修景等を行い、有料ゾーン内の花のボリュームを増やすことを検討し、訪れる方の満足度を上げていきたいと考えております。</p> <p>・有料化によって得られる収入は、今後予定している一年草花壇に植栽する花苗の購入費に使わせていただくほか、ガーデン全体の維持管理費として必要とする経費の一部として使わせていただくことを考えております。</p> <p>・ガーデン有料入園者として想定している人数は、昨年度の夏秋シーズン中の利用者概算値1日当たり約400人の半数に当る、1日当たり約200人を想定し、これに想定有料入園期間日数を乗じて、有料入園期間中、約27,000人の方が有料ゾーンを訪れることを見込んでおります。</p> <p>・ガーデンの入園料につきましては、いただいた御意見を参考としながら、料金設定を行いたいと考えております。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
4	<p>市民広報に載りました報道に戸惑いをおぼえます。</p> <p>1. 当初からの有料化の方針であったのか。施工等の費用がかかりすぎて、見学に料金を取る方策を考えたのか、明瞭ではありません。全道各地のガーデンの観光ルートの一つとしてのことか。そうであるなら、市民は無料でのよい。</p> <p>2. 北彩都開発構想は良いとしても、だんだんと拡張し過ぎて歯止めがない。今、デパート問題もあり、庁舎建設のこともあり、大丈夫ですか。</p>	<p>・北彩都ガーデンは、学識経験者や関係市民団体、公募市民等で組織した検討懇談会で議論を行い、平成22年度に「北彩都ガーデン整備基本方針」を策定し、その方針に基づき整備を進めてきました。整備方針の策定過程では、ガーデンに有料区域を設けるべきという意見もありましたが、有料化については将来の検討事項としていたものです。</p> <p>・有料化によって得られる収入は、これまで掛かった工事費に充てるのではなく、今後予定している一年草花壇に植栽する花苗の購入費に使わせていただくほか、ガーデン全体の維持管理費として必要とする経費の一部として使わせていただくことを考えております。</p> <p>また、北彩都ガーデン利用の際の市民と観光客との利用料金については差をつけない考えですが、いただいた御意見を参考としながら、適正な料金設定を行いたいと考えております。</p>
5	<p>私は365日毎日散歩とラジオ体操を実行しております一市民です。親から戴いた健康な身体と精神に感謝をしながらの年金生活者です。</p> <p>散歩コースは緑が丘から医大周辺と西御料地の空気の美味しい緑に囲まれたコースです。</p> <p>市民の自慢は緑の多い事と木々の多くオゾン一杯吸収出来る住宅地が多い事です。市民のもう一つの自慢は河川が多い事です。河川敷の多い(広い)事と、その有効な使い方は市民は千差万別です。</p> <p>私にはジョギングにパークゴルフに憩いの空間です。その空間を市費で整備して、市民に提供するのには市税の使い方としては納税者として当然の権利と思います。</p> <p>利用者負担も理解出来ますが、公園の利用者から料金を徴収する事よりも、他の方法、収入の道が有るのではないですか。</p> <p>住み易い街、緑の多い街、市民税等の負担が少ない街として、他にない魅力が多い街として、定年退職後に移り住んだ街です。</p> <p>旭川駅周辺に広がる河川敷を有効利用した北彩都ガーデンの利用に料金を徴収する事は絶対反対です。</p> <p>観光客を誘致しようとする市長の方針に逆行する様な案には絶対賛成できません。</p>	<p>・有料化の区域は、旭川駅から最も離れた、ガーデンセンターの周囲約1ヘクタールとなります。旭川駅の南側や大池の周辺などは、無料で利用できますので、これまでどおり憩いの空間としてご利用ください。</p> <p>・有料化によって得られる収入は、今後予定している一年草花壇に植栽する花苗の購入費に使わせていただくほか、ガーデン全体の維持管理費として必要とする経費の一部として使わせていただくことを考えております。</p> <p>・ガーデン利用者から入園料をいただく収入策のほかに、例えば、北彩都ガーデンのオリジナルグッズの製作販売や、移動販売車による軽飲食物の販売等により収入を得る方法が考えられます。これらの物販を行うには、本市の直営による運営では難しい点もあることから、今後、ガーデンの運営に指定管理者制度を導入することにより、今までよりも自由度の高い運営を目指すことで、物販等を含め、別の収入策も検討して参ります。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
6	<p>計画に対する市民への説明会等を開くことで、直接意見を集めることも必要かと思えます。又、すぐに有料化を考える前に、公園内での営業活動を一定の範囲で認めることによって、収入を確保することも併せて検討してはどうかと思えます。</p> <p>道内の緑地、公園の中でも、都心部に位置するにもかかわらず、開発の手があまり入っていない稀な公園ですので、有料化によって過剰な整備、開発にならないのかも心配な点です。</p> <p>整備の概略を拝見させていただいた範囲では、在来植物を主とした計画になっているようなので、その理念を大切にして、過剰に園芸的な状態を作らないようにお願いしたいと思います。</p> <p>今後の運営に於かれては、悪天候時、及び冬期の問題もあると思えます。市による公的運営だけでは難しい部分も多々あると思えますので、民間の活動も上手く取り入れた形の計画を考え、その一つとして有料化も検討項目に入れてはどうかと考えます。</p>	<p>・今後は、パブリックコメントでいただいた市民のみなさまの意見を基に、旭川市の方針を決めてまいります。</p> <p>・有料ゾーンを設けるために、新たに行う整備として、有料ゾーンを囲う柵と管理ゲート、生垣等の設置を予定しておりますが、必要最小限のものであり、現状のガーデンの景観や施設を大きく変えるものではありません。</p> <p>・この他に、ガーデンの魅力アップのための植栽等を予定しておりますが、ガーデンの植栽コンセプトを尊重したものとなるように配慮いたします。</p> <p>・北彩都ガーデンは、都市公園法及び旭川市都市公園条例に則り管理が行われることとなりますが、その中で、民間事業者が営業活動を行う際は、公衆の公園利用に支障を及ぼさないと認める場合に限り、有料で許可をすることができることとなっています。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の商法は失敗する。やめた方が良い。 ・開園してから5回程度お邪魔している。建物、外も広々気持ち良い。無料でひまつぶし、トイレ利用もいいね。 ・物の販売、飲食等魅力的にし、市が損のない事に腐心すべし。 ・冬のスノーモービル有料、努力は買うが収支はあっていない。 ・参考にすべきは、恵庭道の駅「花ロードえにわ」、ドライブイン、道の駅を併設し、人の賑わいと収入を目指すべし。 ・富田ファーム(無料)を真似したら。 	<p>・記念品等、物の販売や飲食等の物販を行うには、本市の直営による運営では難しい点もあることから、今後、ガーデンの運営に指定管理者制度を導入することにより、今までよりも自由度の高い運営を目指すことで、物販等を含め、別の収入策も検討して参ります。</p> <p>・今年1月にガーデン内で実施した、スノーラフティング等の冬のアクティビティは、冬ならではの楽しみを観光客や市民に提供し、中心市街地の賑わいづくりに繋げて行くことを目的として実施したものです。春から秋にかけての花のシーズンだけではなく、雪に覆われる冬期間についてもガーデンへの集客は重要なものと考えており、今後も引き続き、冬ならではのガーデンの楽しみ方を提供し、たくさんの市民や観光客の方にガーデンを利用していただきたいと考えております。</p> <p>・ガーデンへの道の駅の併設につきましては、現在のところ、その予定はございませんが、人の賑わいや収入の面で参考となるところはガーデン運営においても参考としていきたいと考えております。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
8	<p>有料化に反対します。 5月～10月まで町内のノルディックウォーキングで現地を歩きます。駅南エリアでの花壇の花を見て癒されています。とても良く管理されていて良いと思います。</p> <p>今日の私の生活では、入園料は負担になります。整備費や管理を行うための経費はよく分かります。別の形で捻出はできないでしょうか。 駅でのガーデンは外ではない事ですので、観光での目玉として期待しております。</p>	<p>御意見等に対する市の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料化の区域は、旭川駅から最も離れた、ガーデンセンターの周囲約1ヘクタールとなります。旭川駅の南側や大池の周辺などは、無料で利用できますので、これまでどおり憩いの空間としてご利用ください。 ・有料化によって得られる収入は、今後予定している一年草花壇に植栽する花苗の購入費に使わせていただくほか、ガーデン全体の維持管理費として必要とする経費の一部として使わせていただくことを考えております。
9	<p>昨年の7月にグランドオープンした、あさひかわ北彩都ガーデンが一日平均どれぐらいの人が訪れて来るのか、把握できてはいませんが、それほど多くの市民が入場しているとは考えにくい。特にガーデンセンターの周辺は、ハーブを中心としたゾーンになっていて、あまり魅力的ではないように思っている。</p> <p>今、有料化案が持ち上がっているようだが、少し頭を捻る問題ではないかと考えている。何故かという、有料化する宮前西エリアが、市民に見てもらえるガーデンになっていない様に思う。あまりにもシンプルで、それほど拘りが入っていないし、どのように市民の目を楽しませてくれるのかがはっきりしていない様に思う。</p> <p>他のガーデンでは、やはり見せるための工夫が色々な所にしてあるし、花の種類も多彩で、見ているだけで楽しくさせてくれる、そんなガーデンになっている。今の状況では、あさひかわ北彩都ガーデンの有料化には反対である。</p> <p>もし、するのであれば、その付加価値をどう付けるかである。今のレイアウトをもっと多くし、週に何かの講座を開設し、そこで学ぶことができれば意味があるし、又、花の苗などの販売や新鮮な野菜の販売をすとか、何か工夫することによって市民にメリットができれば、有料化も安いものになるかもしれない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化後のガーデンの施設についてですが、現在、芝生広場となっている敷地の一部を新たに花壇として改修し、主に一年草を使い、訪れた方の目を引くような演出性の高い植栽を行うことを予定しています。 合わせて、花壇への一年草植栽だけではなく、例えば、ハンギングバスケットやプランター花壇を利用した修景等を行い、有料ゾーン内の花のボリュームを増やすことを検討し、訪れる方の満足度を上げていきたいと考えております。

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
10	<p>【結論】 有料化案に賛成、金額は一日券200円、パスポート500円 または市の他施設との共通券の検討も必要。例えば、ガーデン絡みでは「三浦庭園」とセットにし、動物園に来られる市外の観光客を市内中心部に導入する一策とする。(現状は、動物園に来られる観光客の多くは市中心部は素通りの傾向)</p> <p>【今後の課題と対応】</p> <p>①今後のあるべき姿として、公共施設の利用は受益者に一部負担してもらうのが時流。しかし、公園としての位置付けでみると有料化には賛同は得づらい。</p> <p>ガーデンとしての位置付けでも現状の規模・内容では有料化は難しい。よって、金額は試算例③の「花苗1株程度を協力していただく」が共感を得ることができると思う。</p> <p>②有料化とする説明に説得力が弱い。堂々と「北海道ガーデン街道」の一つとして今後全国に発信していきたいので他ガーデンと連携強化を図るため有料化は必須と打ち出すべき。</p> <p>北彩都ガーデンは今後、旭山動物園とともに旭川の観光、教育の場として内外に誇れる場所となる可能性を秘めている。滞在型観光客の増大、全国初の買物公園への観光客の導入を図るための施策の一つと訴えれば市民の多くの賛同は得られるものと確信する。</p> <p>③有料化地域に対する市民の誤解がある。</p> <p>有料化としたい地域提案を駅南も含むと思っている市民が驚くほど多い。広報を徹底するとともに、関連各種団体の見学の機会を計画し、現地を見て感じてもらうことが必要。</p> <p>季節の移ろいを感じる花々の群生、ハーブの香り、そして何よりそれを管理するガーデナーの責任感の強さと優しさ、それらに触れることがまさに百聞は一見に如かずと思う。</p> <p>ぜひとも市主催で、例えば各地域市民委員会単位でマイクロバス等を使い見学会を希望する。</p>	<p>・ガーデンの入園料につきましては、いただいた御意見を参考としながら、料金設定を行いたいと考えております。</p> <p>・北海道ガーデン街道への加入については、すでに加盟している他のガーデンと同程度の料金設定であること、ガーデンの整備内容が一定の水準以上であること、ガーデン街道に係るグッズの販売などに積極的に関わる必要があること、そして、ガーデン街道協議会の承認が必要となることなど、様々な課題がありますが、北海道ガーデン街道の知名度は高いことから、加入することで国内外の観光客誘致に相当の効果が期待できるものと考えておりますので、今後も協議を進めてまいります。</p> <p>・本市では、北彩都ガーデンの魅力を多くの市民に知ってもらうため、ガーデナーの案内による、見学ツアーを開催しております。今年度は昨年度より開催回数を増やし、ガーデンの花の見頃に合わせ、7回の開催を予定しております。今後もガーデン利用者の声を聞きながら、より効果的な広報活動を行って参りたいと考えております。</p>
11	<p>1. 全国的な受益者負担導入の傾向 2. 他施設とのバランス 3. 厳しい財政運営</p> <p>などから、ガーデン入園料は、②1日400円、パスポート1,000円、ガーデンセンターの使用料は原案とし、優良な管理が望ましいと考えます。</p>	<p>ガーデンの入園料につきましては、いただいた御意見を参考としながら、料金設定を行いたいと考えております。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
12	<p>旭川市長様</p> <p>はじめまして。北彩都ガーデンサポーターの一人として、意見を述べさせていただきます。北彩都ガーデンが観光の目玉として整備され、これからも維持していくには有料化案が出るのは避けられないのかもしれませんが。</p> <p>しかし、フェンスや生垣で囲い入園料を取るとなると、市民の足は確実に遠のくでしょう。多くの人に見に来て欲しい、私達市民の身近なお庭であって欲しい、そう願いながらサポーターの活動に参加しています。</p> <p>今、お花はのびのびと自由に咲いています。野菜の苗も気持ちよく風を受けています。とてもBeautiful！です。これ以上何が必要なのでしょうか？</p> <p>もっともっと存在をアピールしてください。そして、私達サポーターにもっと出来ることはありませんか？月に2度ほどの活動ですが、職員の方々から教わる事が多く、とてもありがたく思っております。また、年に何度か講習会など企画していただいておりますが、これからは是非、受講料を取ってください。提案します。</p>	<p>御意見等に対する市の考え方</p> <p>・ガーデンの有料化につきましては、旭川駅の南側や大池の周辺などは、これまでどおり都市公園に相応しい憩いの空間として無料で利用していただきながら、駅から最も離れた区域になりますが、ガーデンセンター周辺の約1ヘクタールの区域を有料化区域とし、それによって得られる収入を質の高い維持管理を行うための経費に充てることで、一層魅力あるガーデンとし、さらに多くの観光客や市民の方にガーデンを利用いただき、中心市街地の大切な観光資源として、活用して参りたいと考えております。</p> <p>・ガーデンサポーターの方々から愛情をもって花壇の手入れをしてくださることで、一層質の高い維持管理ができていると考えております。今後もさらに多くの方に興味を持っていただくために、様々な講習会の開催や広報活動を行って参りたいと考えております。</p>
13	<p>北彩都ガーデンは誰でもが楽しく過ごせる場所で、学習したい方はそれをできる所もあり、本当に素晴らしい自慢のできる空間だと思います。</p> <p>でも、有料化するのはどうでしょうか。</p> <p>せっかくの楽しい雰囲気が激減するのではないのでしょうか。</p> <p>旭川市の顔でもある北彩都ガーデンを、一部でもあれ有料化することに、ご考慮願います。</p>	<p>・ガーデンの有料化につきましては、一層魅力あるガーデンとし、さらに多くの観光客や市民の方にガーデンを利用いただき、中心市街地の大切な観光資源として活用していくため、また、質の高い維持管理を今後も継続するために、必要であると考えておりますので、いただいた御意見を参考としながら、入場料金設定を行ってまいります。</p>
14	<p>有料化に反対です。</p> <p>クラブが結成され2年目です。毎月1回20～25名の参加です。交流センターCoCoDe裏から出発して左岸に行き、帰りガーデンセンターで休憩を取り、約1時間のウォーキングを楽しんでおります。センター周辺が通れなくなると困ります。</p> <p>高齢化の進む中で健康が叫ばれています。たとえ200円の有料となった時、ウォーキングする人は本当に少なくなると思います。</p> <p>どうか年寄りの夢をとらないで下さい。無料化をお願いします。</p>	<p>・ガーデンの有料化につきましては、一層魅力あるガーデンとし、さらに多くの観光客や市民の方にガーデンを利用いただき、中心市街地の大切な観光資源として活用していくため、また、質の高い維持管理を今後も継続するために、必要であると考えておりますので、いただいた御意見を参考としながら、入場料金設定を行ってまいります。</p> <p>・ガーデンセンターにつきましては、有料化後も、今までどおり無料で休憩やトイレなどを御利用いただくことが可能です。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
15 -1	<p>I. Context of Kita Saito Area and Garden <北彩都(ガーデンを含む再開発エリア)の文脈性> I-1) 文脈性の考慮 北彩都再開発エリアの文脈性(事業の文脈性及びその土地(風土)の文脈)をどの程度、考慮検討したのか。ガーデンを計画・設計するにあたり、その背景及びコンテキストがビジュアライズ(可視化)※)されていないことは問題では無いか。</p> <p>I-2) 要件定義(デザインポリシー及びポリシーマネジメント) 今回の事業担当者(行政側)及び計画を依頼した専門家等ほどの程度、またどのように文脈性を考慮したのか。また、計画を外部に依頼するに先立ち、行政側事業担当者は平成8年(1996年)から平成9年(1997年)に計画実行されたデザイン都市形成事業及び公共デザインに関するガイドライン(旭川市デザインビジョン)を参照、熟考したのか。又、専門家に対してどのようなデザインポリシー(要件<条件>定義)の策定を行ったのか?また、アウトソースの要件(条件)定義は開示されて居るのか。</p> <p>(参考文献) デザイン都市形成事業(1996年), デザイン都市, 公共デザインに関するガイドライン(1997年) ※1) 此処で言う可視化とは計画・設計(デザイン)プロセスをパブリッシュ(開示)する事を意味する。</p>	<p>○ 北彩都ガーデンについて 北彩都ガーデンの整備に際しては、平成22年度に策定された「北彩都ガーデン整備基本方針」に基づいて整備を進めて参りました。この整備方針は、北彩都あさひかわのまちづくりのテーマである、「川からのまちづくり」、「都心部に豊かな自然を取り込むまちづくり」、「忠別川の本来の自然環境を大切にするまちづくり」という方針をベースとして、「大雪山系の山々から繋がる忠別川の豊かな自然環境を活かし、旭川都心に相応しい川のガーデンを整備する。」というガーデンの全体整備方針を定めたものです。このガーデン整備基本方針につきましては、本市のホームページにおいて公表しております。</p> <p>有料化の区域は、ガーデンセンターの周囲約1ヘクタールとなります。現在、芝生広場となっている敷地の一部を新たに花壇として改修し、主に一年草を使い、訪れた方の目を引くような演出性の高い植栽を行うことを予定しています。合わせて、花壇への一年草植栽だけではなく、例えば、ハンギングバスケットやプランター花壇を利用した修景等を行い、有料ゾーン内の花のボリュームを増やすことを検討し、訪れる方の満足度を上げていきたいと考えております。</p> <p>○ 北彩都ガーデンの有料化について ガーデンの有料化につきましては、一層魅力あるガーデンとし、さらに多くの観光客や市民の方にガーデンを利用していただき、中心市街地の大切な観光資源として活用していくため、また、質の高い維持管理を今後も継続するために、必要であると考えておりますので、いただいた御意見を参考としながら、入場料金設定を行ってまいります。また、有料化によって得られる収入は、今後予定している一年草花壇に植栽する花苗の購入費に使わせていただくほか、ガーデン全体の維持管理費として必要とする経費の一部として使わせていただくことを考えております。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
15 -2	<p>Ⅱ. Position and Mission</p> <p><北彩都ガーデンの位置付けと役割について></p> <p>Ⅱ-1) 北彩都エリアの役割とは何か？</p> <p>北彩都とは何なのか？現代及び将来に於いて北彩都は役割を果たすのか？都市開発に於けるエリアのポジショニングは非常に重要であり、それらのポジショニング次第で後代に大きな影響を与える事を認識しているのか。また、これらのハードを計画・設計・整備する段階で、デザイナー（設計者）たちはハード上で動くソフトを想定しハード設計をしているはずである。</p> <p>ハード設計すると同時並行でソフトウェアの設計を行うのがプロジェクトやサービス設計に於いては常識である。行政側はそれらを認識し、具体的なソフト設計の定義付け（ポリシーマネージメント）を行ったのか？また、そのプロセスが見えないのは何故か。</p>	<p>○「北彩都あさひかわ」について</p> <p>・「北彩都あさひかわ」は平成2年の計画当時旭川市が抱えていた、国鉄民営化による未利用地の有効活用、鉄道や河川により分断されていた南北市街地の一体化、ドーナツ化現象による中心部の活力低下などの課題を解決するために、「都心ルネッサンス」を目標に掲げ、整備を行ったものです。</p> <p>主な事業は、道路や宅地を整備する区画整理事業、道路交通を円滑にする鉄道高架事業、新たに3本の橋を架け、市街地を一体化させる橋梁整備事業、自然豊かな忠別川を活用する河川空間整備事業などとなっています。</p> <p>空間整備のコンセプトは、駅周辺地区が川に接していることから、「川を活かしたまちづくり」としています。具体的には、河川空間に沿って大きな公園を設け、公園利用者が物理的に川を訪れやすくする工夫や、大きな静水面を設け、急流な川と穏やかな水面など、川の持つ様々な表情を市民が体験し、美しい「川のまち」に住んでいることを誇りに思ってもらえるように整備をしています。</p> <p>北彩都ガーデンも、他にあるガーデンとは違って、駅に直結しているという利便性を最大限に生かし、市民や観光客に癒しや潤いを提供するため河川空間や公園を利用して整備をしたものです。</p> <p>・「北彩都あさひかわ」はモータリゼーションの進行による大型商業施設の郊外進出や都心部の空洞化、人口減少、活力低下という課題を受け、都心部の復興を目指す「都心ルネッサンス」を目標に掲げ、平成2年の計画着手以来、鉄道高架や土地区画整理、河川空間整備などの事業を進め、道北の拠点都市に相応しい都心部をつくることを目指して事業を行ってきました。</p> <p>また、北彩都あさひかわの整備を進める中で、どのようなまちづくりを行っているのかという「北彩都あさひかわ地区計画」を定め、各エリアごとに土地利用の方針を定め、官民合わせて地区計画に沿った土地利用を誘導してきました。</p> <p>広い意味で、この地区計画による土地利用が北彩都あさひかわのソフト設計に当たるものと考えております。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
15 -3	<p>II-2) II-1)に於けるガーデンの役割とは？ 上述を踏まえた上での北彩都ガーデンの役割(ミッション)とは何か。</p> <p>今回のパブコメ資料ではガーデンの位置付けを【観光の目玉】、【身近な自然の美しさに改めて気付かされる、そんな癒しの空間】、【自然の風景や環境を活かした、誰もがくつろげ楽しめる旭川らしいガーデン】、【まちなかの観光スポット】と定義し、中心市街地の活性化及び旭川市の活性化に繋げて行くことをタスク目標(目的)としている。これらの位置付けは公共空間の在り方としては至極当然であり、最もなものであると感じるが、それだけで良いのか。</p> <p>公園というパブリックスペースは『自然や癒し』を提供するだけではなく、古来より『人や文化』が交じり合い新しい文化的な化学反応を生む場所でもあった。外に目を向ければ、新しい独自の文化を発信する拠点(サイトスペシフィック(特異的)な空間)でもあると言える。</p> <p>現在、旭川を含め日本全体が抱える大きな問題は少子高齢化と若年層の都市部への流出による労働生産人口の減少である(生産性の低下=地方経済の低迷)。地方の行政都市はこれらの問題に酷く頭を悩ませている。これらの問題(課題)を解決する上で重要な事は何か。地域振興とは何か。を考える必要がある。それらを考えた上で、公園という機能をどの様に活用すればこれらの問題を解決するソリューションの一つに成り得るか考える事が必要ではないか。(この公園の存在意義を考える必要がある)</p> <p>III. To Pay for Garden and need more <有料化について熟考すべきこと></p> <p>昨年の夏にオープンを迎えたばかりの美しい世界レベルの公園が翌年度には有料化されるというのは常識的に考えても摩訶不思議な話である。当初の公園運用(経営)ポリシーなど存在して居なかった事を証明する事態であり、第8次総合計画が謳っている『世界にきらめく都市ビジョン』に照らし合わせても愚策としか言いようが無い。行政側は『経営』という感覚を持ち合わせているのだろうか。</p> <p>現状の都合(費用を抑えたい)は良く理解できるが、当初から想定出来た事柄であり、有料化の是非を問う検討材料が余りにも不足している現段階に於いて、行政側の都合在りきでの安易な有料化施策は後代に大きな禍根を残す事を認識しているのか。</p> <p>安易な有料化在りきの施策を実行する前に、一度立ち止まり、エリアマネジメントや公共空間の在り方について熟考(再検討)すべきだろう。そして、運用(経営)としてのブランディングやマーケティングと言った顧客動線のテストをもっと実施すべきだろう。</p> <p>これらのテスト運用を怠った上で、取り敢えず指定管理を予定調和的に導入し、民間に横投げする行政運営は果たして健全と言えるのだろうか。</p>	<p>II-2)</p> <p>・北彩都ガーデンは、都市公園としての機能として、利用者に「自然や癒し」を提供することはもちろんですが、ガーデンサポーターの活動に代表されるように、市民活動の場でもあり、また、ガーデンやガーデニングに係る講習会等を実施することで、市民と共に学んでいく場でもあります。これらの活動から生まれる繋がりによって、様々な交流、発信が生まれ、旭川のガーデン文化を市民と共に創造していくことも目標としております。</p> <p>社会全体の大きな流れの中で、「地域振興」というものを考えるとき、中心市街地の活性化というのは、核となるべきものですが、ガーデンにおいては、上述した市民の手による文化の発信や、観光客等を呼び込むことによる賑わい創出などをとおして、その一翼を担って参りたいと考えております。</p> <p>・ガーデンの維持管理につきましては、現在は旭川市が直接行っておりますが、今後は、ガーデンの運営に自由度や来場者へのサービスを向上を図るため、指定管理者制度を導入することを検討してまいります。</p> <p>III</p> <p>北彩都ガーデンは、学識経験者や関係市民団体、公募市民等で組織した検討懇談会で議論を行い、平成22年度に「北彩都ガーデン整備基本方針」を策定し、その方針に基づき整備を進めてきました。整備方針の策定過程では、ガーデンに有料区域を設けるべきという意見もありましたが、ガーデンの区域は河川敷地が大半を占めていることもあり、有料化については将来の検討事項としていたものです。</p> <p>ガーデンは昨年7月に全面オープンし、1年を通じた利用状況や維持管理にかかる費用がほぼ定まってきたこと、また、ガーデンの魅力をさらに高め、まちなかの観光スポットとして、より多くの観光客に利用していただきたいと考えていることから、今回、有料化のパブリックコメントを実施することになったものです。</p>

No	寄せられた御意見等	御意見等に対する市の考え方
15 -4	<p>IV. Alternative Plan <具体的な提案・提言> <現状課題(問題)>有料化を施策するにあたり検討(材料)が余りにも少ない。 <策①> 国内(道内)のガーデン(公園)運用だけではなく諸外国と比較分析及び事例の再検討を行うこと。 (具体的な事例) 米国NY市ブライアントパークの公園経営手法。(世界的に注目された公園経営事例) http://www.bryantpark.org/ http://www.bryantpark.org/about-us/management.html 上記のレポート(Reports>2015一覽)を熟読頂きたい。 及び日本語の概要レポートは森記念財団都市戦略研究所(研究員 大和則夫著)発行が在るので下記にリンクを添付する。合わせてご参照されたい。 「Bryant Park BID:官民連携による公園の魅力化の成功事例」(2015年5月12日) http://www.mori-m-foundation.or.jp/pdf/ius_events_02.pdf</p> <p><策②>ランドスケープの設計者だけに基本計画(運用面)を依頼するのではなく、サービス運用の専門家(ホテル経営者やリテールマネジメントの専門家、百貨店や小売の経営者やマーチャンダイジングの専門家、旅行会社)など分野横断的な検討会を持つべき。(検討委員会は今からでもやるべき)※もっと幅広い多角的な視点を基本計画に盛り込むべき。</p> <p><策③>このような非常に公共性の高い事業の施策検討を行う際は、PR(パブリックリレーションズ)が非常に重要である、広報広聴課と連携し幅広いアイデアを収集出来るような取り組みを実施すべきである。旭川を訪れる観光客からのヒアリングも実施すべきである。PRの在り方を見直すように。(分野横断のプロジェクトチームが必要)</p> <p>以上</p>	<p>・ご紹介いただきました論文にあります、公園の運営会社を設立し、行政だけではなく、民間からも資金を集め、その運営に当るとい手法につきましては、今後のガーデン運営における参考とさせていただきたいと思ます。</p> <p>・今後のガーデンの運営において、花を見てもらうだけではなく、イベントや講座等の開催といったソフト事業の展開も重要なものと考えております。本市がイベント等を企画し実施していくことはもちろんですが、民間事業者の方にも北彩都ガーデンにふさわしいイベント等を開催していただけるよう、イベントを開催する際の条件整備等を行い、より多くのイベントをガーデンで実施することができるように、ガーデンの運営をして参りたいと考えております。</p> <p>・中心市街地に立地するという、恵まれた環境にある北彩都ガーデンの魅力を最大限に引き出していくためには、ガーデンの今後の運営において、ソフト事業の展開は重要な要素であると考えております。</p> <p>ガーデンで展開するソフト事業については、他のガーデンの事例を参考とする他、関係する業界の方の意見に耳を傾けながら、検討を進めて参りたいと考えております。</p> <p>また、北彩都ガーデンの観光施設としてのPRについては十分ではないことから、観光客を呼び込む手法等について観光部局と協議を進め、より多くの方に利用していただけるよう、広報を行って参りたいと考えております。</p>